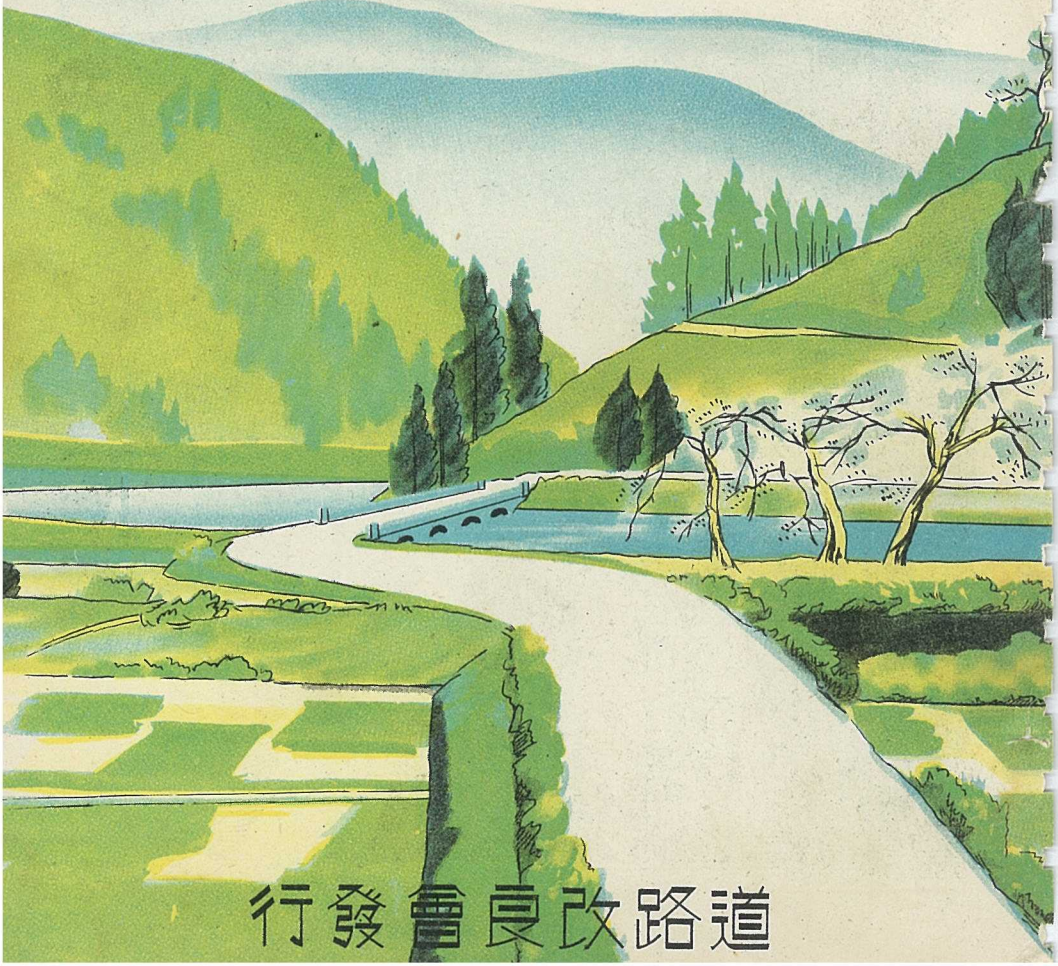
道路の改良

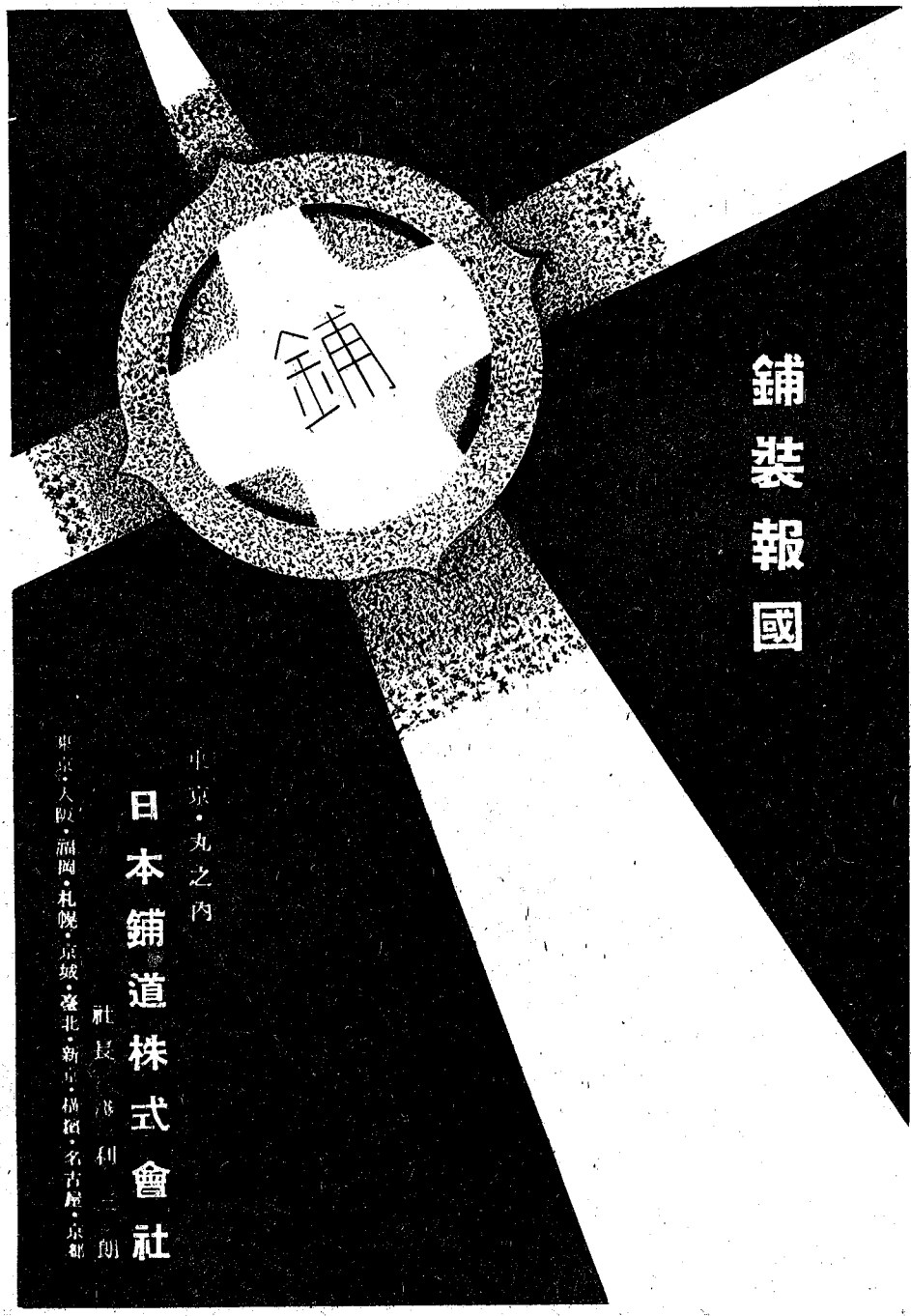
禁　轉　載

第二十一卷　第六號

昭和十四年五月二十五日　印刷納本
昭和十四年六月一日（毎月一回一日發行）



道路改良會發行


鋪裝報國
東京・丸之內
日本鋪道株式會社
社長 淺利三朗
東京・大阪・福岡・札幌・京城・臺北・新京・樺太・名古屋・京都

道路鋪裝

（カタログ贈呈）

東邦工業合資會社

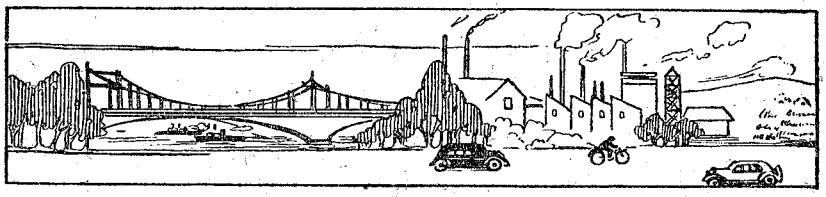
本社 東京市赤坂區青山北町四ノ一〇三
電話青山(36)四九七三・八一四八

工場 神奈川縣川崎市幸町三ノ六一二
福岡縣小倉市富野町下道田一四一三ノ二

營業所 名古屋市・京都市・大阪市
岡山市・廣島市・小倉市・熊本市

道路の改良 第二十一卷 第六號 目次

昭和十四年六月一日發行



口繪　東臺灣臨海道路

卷頭言

論說

亞細亞道路の建設……井上弘道（三）

研究

列國路政の近狀（四）……內務事務官　細田德壽（三）

技術

伊太利の偉大なる土木事業……內務省土木試驗所長　工學博士　藤井眞透（二）

コンクリートの乾燥收縮に及ぼす諸因子（一）……內務省土木試驗所　川畑健雄（二六）

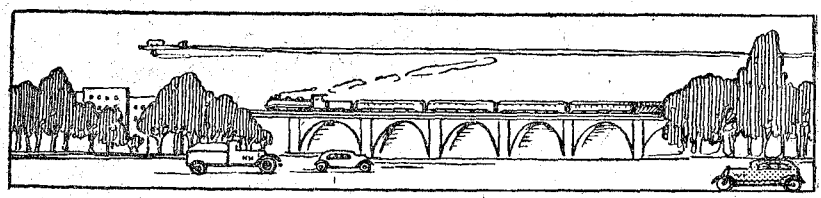
史料

中世の道路交通（四）……千葉縣廳　渡部英三郎（四三）

說苑

地方長官會議を覗く……一記者（五）

關門國道起工式參列の記……K・A生（三）



交通事業調整委員會傍聽記……J・T生（七六）
市「町村」道路線認定變更及廢止手續（一）……高知縣廳梅田三郎平（八一）
木曾路（二）……牧田修（九六）
東北漫步（秋田縣之卷）……和泉生（一〇四）
時局日誌（二十一）……HY生（一一四）

地方通信

北海道・東北・關東・北陸・近畿・中國・九州・臺灣・朝鮮の各地方……（一三三）

法令

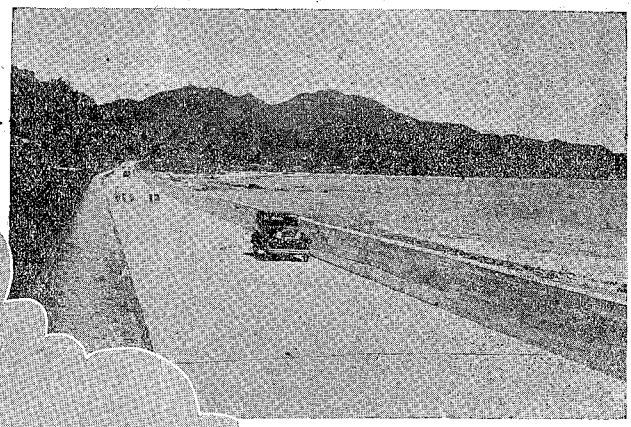
最近內務省に於ける路政關係行政處分例……MO生（一三七）
逐條土地收用法資料（一〇）……高坂孝三（一五〇）

路政春秋

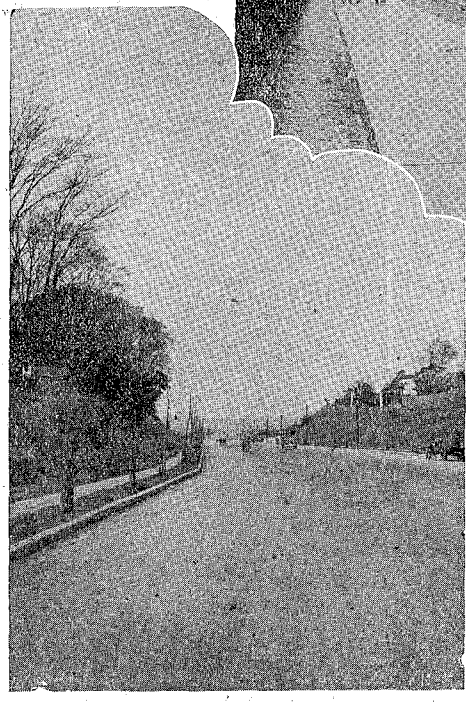
豆隧道の開通も時代の作用か……其他……（一六一）

雜報

◎木戶內務大臣の訓示◎土木局長山崎巖氏略歷◎道路課長福本柳一氏略歷◎加藤伴平氏轉勤
◎木戶內務大臣の視察◎內務省土木試驗所談話會◎近刊圖書雜誌……（一七五）
叙任辭令……（一七二）
編輯室の內外……（一七五）



靜岡縣由比國道
→
ベロセメント使用



↑大宮街道志村附近
淺野セメント使用

早　強

アサノ
ベロセメント

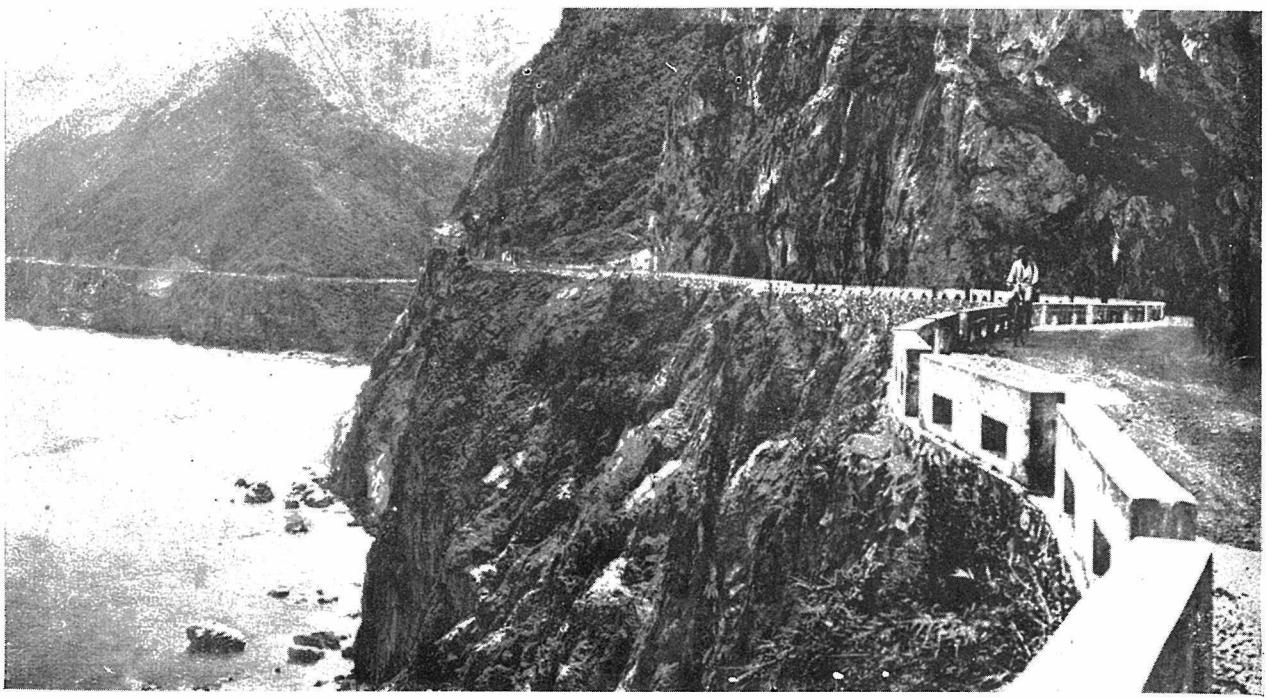
強度高ク
硬リ早ク
使テ經濟

——說明書御申込次第送呈——

淺野セメント株式會社

東京市　丸ノ内　海上ビル

東臺灣臨海道路



臨海道路は東臺灣花連港、蘇澳間を通ずる路線にして新設改修と前後を通じて國帑五百萬圓と五十八名の尊き犧牲を拂ひ十五ケ年の歲月を費したるもの、この里程三十一里餘。

アスファルト

施工
ブローンアスファルト
スペシャルブローンアスファルト
ストレートアスファルト
ウォーターファルト

販売
小倉石油株式會社
専属販売店

株式會社 南部商會

本店 東京丸の内三菱六号館・電話丸内 1654・5014
出張所 名古屋市中区南大津通東陽ビル・電話中国2785番

訂補重版出來

道路職員必携

三五判
レザークロース裝函入
總頁數　一千百餘頁
定價　金五圓
送料　内地壹部金十四錢
朝鮮、臺灣、樺太、關東廳、中華、滿洲壹部金十八錢

本書は道路改良計畫竝に其の設計の指針として、本會が特に道路技術竝行政の權威者に執筆を依囑し完成したるもので、別記目次の如くその内容の豐富にして充實し居ること、其の記述精緻を極め居ること携帶に便なるハンドブックなること、印刷裝幀鮮麗にして優雅なること、道路構造令、街路構造令の細則に付きても記述せる點等に於て、我國にては未だ其の比を見ざる出版であり斯界人士の必須書である。

目次大要

第一編　總論
- 第一章　道路經濟　内務事務官　武若時一郎
- 第二章　道路統計　内務技師　永田年
- 第三章　交通調査　内務技師　永田年
- 第四章　交通車輛　内務技師　小野寺季六

第二編　道路の設計
- 第一章　路線の選定　内務技師　岩澤忠恭
- 第二章　道路の幅員　内務技師　永田年
- 第三章　線形
- 第四章　勾配
- 第五章　横斷勾配
- 第六章　曲線部に於ける道路の構造

第三編　土工　工學博士　眞田秀吉

第四編　道路の排水設備　大阪府土木部工營課長　長久保俊夫

- 第二章　隧道　仙臺鐵道局長　平山復二郎
- 第三章　擁壁　内務技師　鈴木清一
- 第四章　駒止其の他　内務技師　鈴木清一
- 第五章　道路占用工作物　東京府土木部長　金子源一郎

第七編　都市計畫街路
- 内務技師　櫻井英記
- 内務技師　櫻井寛之
- 内務技師　礒谷道一

第八編　交通整理及街路照明の施設　内務技師　佐藤利恭

第九編　道路材料
- 内務技師　山田元
- 内務技師　青木楠男
- 内務技師　西川榮三
- 内務技師　高田昭

第十編　維持及修繕
- 第一章　砂利道　京都府土木部長　岩崎雄治
- 第二章　水締碎石道　福岡縣土木部長　坂本一平

第五編　鋪裝の構造及施工

第一章　鋪裝の種類、得失及選定法　内務技師　藤井眞透
第二章　砂利道　京都府土木部長　工學博士　岩崎雄治
第三章　水締マカダム道　福岡縣土木部長　坂本一平
第四章　瀝青乳劑鋪裝　東京市土木局　東京土木試驗所長　山本亨
第五章　タール鋪裝　日本ビチュマルス株式會社　技師　谷宗雄
第六章　アスファルト鋪裝　日本鋪道株式會社　技師　奈良原輝雄
第七章　セメント・コンクリート鋪裝　日本ポルトランド・セメント同業會　技師　本間雅治
第八章　塊鋪裝　千葉縣　内務技師　大石義郎
第九章　特殊鋪裝　内務技師　工學博士　折坂理五郎
第十章　歩道鋪裝　内務技師　工學博士　藤井眞透
第十一章　軌道敷内の鋪裝　東京市土木局道路管理課長　内務技師　山田元
　堀信一
　佐藤利恭

第六編　工作物

第一章　橋梁及溝橋　内務技師　工學博士　三浦七郎
　内務技師　小澤久太郎
第三章　瀝青乳劑鋪裝　東京市土木局　土木試驗所長　山本亨
第四章　高級鋪裝　東京市土木局道路管理課長　堀信一
第五章　路面の清掃及防塵　東京市土木局道路管理課長　内務技師　堀信一

第十一編　道路用器具機械

内務技師　大石義郎
元内務技師　本間源兵衛

第十二編　示方書

第一章　水締砂利道及水締マカダム道　内務技師　大石義郎
第二章　アスファルト乳劑鋪裝道　〃　青木楠男
第三章　基礎用アスファルト・コンクリート道　〃　〃
第四章　アスファルト鋪裝道　〃　〃
第五章　セメント・コンクリート鋪裝道　〃　〃
第六章　アスファルト・ブロック鋪裝道　〃　〃
第七章　小舗石鋪裝道　〃　〃
第八章　煉瓦鋪裝道　〃　〃
第九章　木鋪裝道　〃　〃
第十章　道路鋼橋　内務技師　鈴木清一

第十三編　法規（道路體係法規）土木事務官　谷口松雄

附錄　測量に關する諸表、重要なる常用數値、數學公式、平面形の面積及重心、立體の體積及表面積、桁の反力・彎曲率表、度量衡比較表、道路用語

索引

本會々員又は學生に限り

特價金三圓五十錢にて頒つ

發行所　社團法人　道路改良會

發賣所　好文館書店

東京市小石川區諏訪町五十六番地
振替口座東京九〇二一番
電話小石川(85)二三七七、二三七八、二三七九番

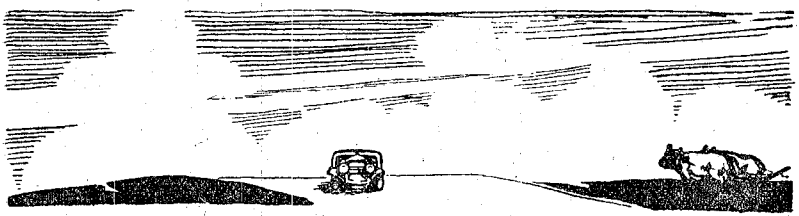
筆立裝鋪路道トルアフスア
筆立裝鋪トルアフーターオウ劑乳靑瀝
賣販理代トルアフーターオウ・トルアフスア倉小
賣販造製グソイフールヒサア
社會式株木土市都
地番二目丁一橋京區橋京市京東
番八六二二(56)橋京　話電

昭和十四年

道路の改良

六月一日

第二十一卷
第六號



巻頭言

天皇陛下に於かせられては五月二十二日宮城二重橋外の廣場に全國三萬五千五百餘名の青少年を御親閲遊ばされて後、荒木文部大臣を宮中に召させられ親しく左の勅語を下し賜ふた

國本ニ培ヒ國力ヲ養ヒ以テ國家隆昌ノ氣運ヲ永世ニ維持セムトスル任タル極メテ重ク道タル甚ダ遠シ而シテ其ノ任實ニ繫リテ汝等青少年學徒ノ雙肩ニ在リ汝等其レ氣節ヲ尚ビ廉恥ヲ重ンジ古今ノ史實ニ稽ヘ中外ノ事勢ニ鑒ミ其ノ思索ヲ精ニシ其ノ識見ヲ長ジ執ル所中ヲ失ハズ嚮フ所正ヲ謬ラズ各其ノ本分ヲ恪守シ文ヲ修メ武ヲ練リ質實剛健ノ氣風ヲ振勵シ以テ負荷ノ大任ヲ全クセムコトヲ期セヨ

世界新秩序を建設するの一大使命を自覺したる我等日本國民中の青少年に對し「國本ニ培ヒ國力ヲ養ヒ以テ國家隆昌ノ氣運ヲ永世ニ維持セムトスル任タル極メテ重ク道タル甚タ遠シ而シテ其ノ任實ニ繫リテ汝等青少年學徒ノ雙肩ニ在リ」と寔に恐懼措く所を知らざるは老壯國民である、今日の青少年をして低調なる思想に墮し、柔弱なる精神に陷り、放縱に流れ大乘的見地に立つを知らず私を去つて公に奉ずるの意氣に乏しきの風あらしめたるは果して誰の責任であるか。物質主義的な功利主義的な結果を成功なりと賞揚し、徒らに歐米の惡風に倣ひ、歐米人の如く生活せんことを以て文化的生活なりと思惟したる者も多く、又何等思索を精にすることなく排外的感情に走りて形式的誇矜的國粹主義を主張したる者も少なくなかつたので此等兩極端の父兄に指導せられたる青少年が其の操守する所を謬りたるの少からざるは疑ふの餘地なき事實である。「其レ氣節ヲ尚ビ廉恥ヲ重ンジ古今ノ史實ニ稽ヘ中外ノ事勢ニ鑒ミ其ノ思索ヲ精ニシ其ノ識見ヲ長ジ執ル所中ヲ失ハズ嚮フ所正ヲ謬ラズ各其ノ本分ヲ恪守シ」と聖旨の存する所は獨り青少年のみでなく父兄たる國民の各々服膺しなければならぬ所である。

若夫れ東亞否世界の新秩序を建設せんとするに當りては老壯國民たるものは思索を精にし識見を長じて必しも日本在來の古典的な理念や固陋的な思想や日本國民にあらざれば實踐する能はざるが如き道德倫理論に捉はれず、汎く萬國民をして理解し認識し實踐せしめ得るの道を創始し。之を古今に通して謬らず中外に施して悖らざる新らしき日本哲學、新しき文化を創成する所がなければならぬ。然り然しながら我等日本民族は八紘を一宇とする統一性、天壤無窮の永遠性、奉皇の精神たる純眞な服從性を特徵とする。此民族性に立脚して思索し行動するの外また他に途なきものである。我等父兄たると青少年者たるとを問はず其の精神を玆におき其の行動を此に出でしむるならば宏遠なる勅語の聖旨に奉答するに庶幾からん（洮民）